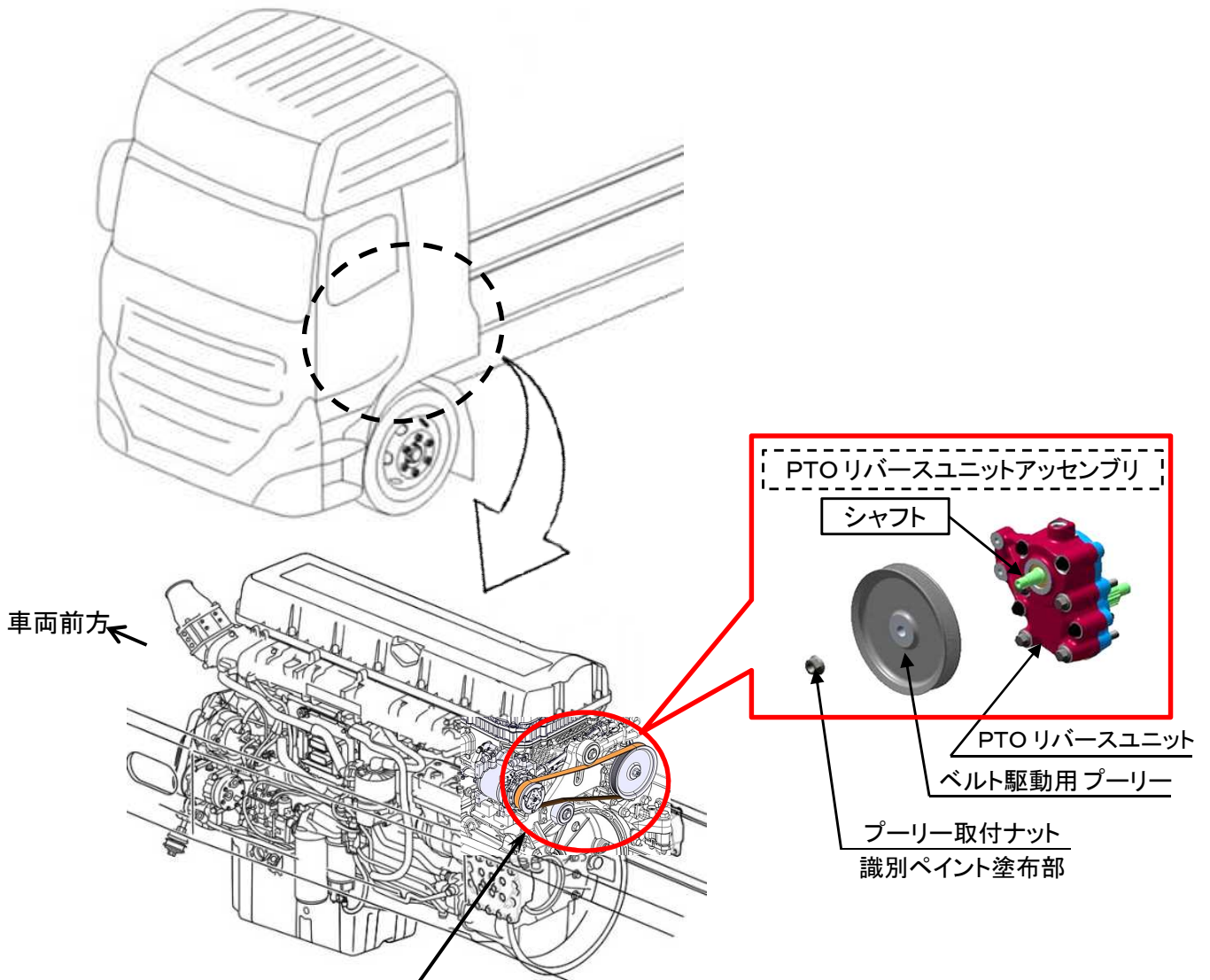


改善箇所説明図③



基準不適合発生箇所

大型トラックにおいて、駆動力取出し装置（PTO）の組付作業が不適切なため、シャフト部の表面に防錆対策用テープの接着成分が残ったまま、ベルト駆動用プーリーが組付けられたものがある。そのため、ベルト駆動用プーリーの取付ナットの締付け力が不足し、そのままの状態で使用を続けると、取付ナットが緩み異音が発生し、最悪の場合、駆動用プーリーが脱落して、他の交通の妨げになるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、ベルト駆動用プーリー締結部の点検・清掃を行ない、取付ナットに緩みがある場合は、PTOリバースユニット一式を新品に交換する。

なお、交換部品の準備に時間を要するため、準備でき次第、改めて部品を交換する。

注： は、措置する部品を示す。 は必要に応じ交換する部品を示す。
識別：作業完了車には、PTOプーリー取付ナット部に黄色又は白ペイントを塗布する。